

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコールの有用性と安全性の評価
研究責任者	飯塚美有、山本圭祐、柏原道志
研究実施体制	聖隷浜松病院薬剤部
研究期間	2019年8月21日から2020年2月29日
対象者	2017年9月1日から2019年8月31日の間で院外処方箋が出た患者のうち、薬局からの疑義照会があった方を対象とします。
研究の意義・目的	<p>当院では、2018年9月1日より、患者様の待ち時間を削減し、医師、医療秘書、医療クラークおよび薬剤師の業務負担を軽減することを目的に、疑義照会簡素化プロトコールの運用を開始しました。</p> <p>現在、合意締結薬局薬剤師によるプロトコールと、当院調剤室担当薬剤師によるプロトコールの2種類の運用が行われていますが、診療科が限られていたり、薬剤師の判断で処方修正、変更ができる項目が少なかったりと改善の余地がみられます。</p> <p>そこで、本研究では、現在運用されているプロトコールの有用性、安全性を評価することを目的とし、今後対象診療科拡大を行っていく際の一助とします。</p>
研究の方法	<p>対象となる患者様について、診療録から以下の項目の調査を行います。</p> <p>疑義照会の内容、疑義照会件数、プロトコール使用件数、疑義照会返信時間</p> <p>患者情報として、電子カルテより以下の項目を調査します。</p> <p>年齢、体重、身長、性別、臨床検査値(クレアチニン、eGFRcre、AST、ALT、ナトリウム、カリウム、無機リン、カルシウム、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、好中球数、血小板数、PT-INR、HbA1c)、処方薬剤、疾患名、既往歴、患者基本情報</p> <p>プロトコール導入前後の疑義照会を比較し、プロトコール導入による医師への問い合わせ件数および、疑義照会返信時間の変化を調査します。また、疑義照会の項目のうち、残薬調整件数の変化を比較し、残薬調整により削減できた薬剤費の変化を調査します。また、プロトコール非該当例について、その内訳、採択率を調査します。</p> <p>プロトコール逸脱事例の有無を確認し、原因を考察し、対策を講じます。</p>
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 (氏名)飯塚美有

